

愛知県育成水稲「愛知123号（愛ひとつぶ）」について

1 「愛知123号（愛ひとつぶ）」とは

- 近年、夏の高温により米（特にコシヒカリ）の品質低下（心白米の発生）が深刻化していたことから、2017年8月に高温耐性と良食味を併せ持つ水稲として愛知県農業総合試験場が開発し、品種登録。
- 外観品質が優れ、もっちりとした食感があり、味・粘りは「コシヒカリ」と同等の良食味。



「愛知123号」



高温で品質が低下したコシヒカリ

【玄米の外観】

2 生産状況

- 2017年度から2019年度までは試験栽培、2020年度からは登録した生産者による限定栽培を開始している。

【作付面積の推移】

年度	作付面積 (ha)	生産者数	取組 JA数
2017(平成29)	5	14	7
2018(平成30)	6	16	7
2019(令和元)	9	28	11
2020(令和2)	50	55	13

【2020年度の栽培地域】

